

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ジミー		公表日		令和7年 3月 19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		音に過敏な利用者様等、必要なスペースを整備している。また、安全に過ごせるよう遊具等の配置に配慮して活動している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	利用人数によって活動内容を工夫している。利用者様同士をニーズに合わせてグループ分けを行い活動している。	マンツーマン対応の利用者様が多い日は人員を手厚くしているが、マンツーマン対応の利用者様の対応方法を工夫していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	その日のスケジュールボードを掲示している。	利用者様の特性に合わせた個々のスケジュールを明確化していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	就業後の清掃、消毒作業を徹底している。	利用者様の視点を反映した環境作りを心掛けていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		それぞれの利用者様に合わせた空間を整備している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		日々のミーティングで支援の振り返りや保護者様からの情報伝達を行っている。	常勤職員に限らず多くの方からも情報を得られるように検討していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	評価結果を回覧し、会議にて個々の事案について検討して改善に向けた取り組みを行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	会議やミーティングで職員の意見を聞き、改善に取り組んでいる。	職員全体が意見を言える方法を検討していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	第三者による外部評価を行っていない。	今後は外部からの意見を共有し、内容を周知、検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		社内研修・社外研修を行っている。	研修による振り返りや情報共有を行い、職員全体のスキル向上を図る。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			現段階では作成中のため今年度中に公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者様や相談員と情報共有を行い、利用者様のニーズを検討した上で作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員会議内で密に情報共有を図っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		定期的に職員会議等で再確認、再周知を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		保護者様や相談員の方からいただいた情報と日々の活動などから状況を把握するように努めている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			学校や相談員以外の連携の幅を広げる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		活動プログラム一覧を作成している。	立案する職員に偏りがあるため、ミーティング等を活用してチーム力向上を図る。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		前日の活動プログラムと重なっていないかミーティングで確認をしている。	年齢にバラつきがあることや参加が難しい利用者様もいるため、バリエーションを増やしていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			集団活動を拒否される方はご本人様の意思として無理には参加してもらわず小集団活動を取り入れるなどして活動を進めている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝ミーティングで前日の支援の振り返り、当日の役割の確認等を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		会議やミーティング等で支援に対する意見交換、情報共有を強化する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		利用中の特記事項に関して毎日行っているミーティングで共有や支援方法についての検討を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			基本的には行えているが地域交流の部分が課題となっている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		主に児童発達支援管理責任者が参加している。	担当職員に限らず状況の理解ができるようにしている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		学校や事業所とは連携できるように取り組んでいる。	医療機関なども地域連携のひとつとして考えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			多機能型で運営しているため事業所内での移行は問題なくできているが現状他事業所を利用している方に関しては不完全なので対応していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		実習先の事業所に利用時の情報等を提供している。利用終了後も問い合わせがあれば都度対応している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		都度必要に応じて情報共有をしている。	助言等はいただいています。スーパーバイズに関しては現状できていないので今後検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		地域主催の交流イベントには参加しているが、児童クラブなどの交流はないため今後の参加を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		今後要請があれば参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や連絡ノートで日々の出来事や事業所やご家庭での課題について情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		家庭で行える活動や対応方法についての説明を行い、家庭と事業所との支援の一貫性を持てるようにしていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っている。	支援プログラムは現在作成中のため公表後にご家族様に説明をする。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		契約時などの面談で意向について聞き取りを行い、サービス等利用計画を基に作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		計画を説明しながら、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		頻度は多くないものの過去実施しているイベントで交流をもつ機会がありましたが、新型コロナウイルス流行後機会がなくなっていたので再検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		日頃から要望などあった際には出来る限りの対応をさせていただいている。また、必要に応じて関係機関などにも情報を共有し、対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		視覚的な手がかりになる支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		地域住民を招待する行事等は行えていないため、今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		定期的に避難訓練を実施し、通信にて掲載している。各種マニュアルについては社内研修を行い、対応に備えている。	各種マニュアルは策定されているため保護者様にも説明、周知を徹底していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		AED講習や年間計画に沿った非常災害訓練を実施している。	今後は様々なことを想定し、訓練を実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時のアセスメントで情報を聞き、個々の状況を把握している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者様から情報をいただき対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、必要な措置があれば実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットの事例が起こった際には報告書を作成し回覧、周知後、会議にて検討会を行い再発防止に努めている。	今後も事故や怪我が発生した場合は速やかに連絡をし、状況の説明を行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会を設置し研修や会議を行っている。また、定期的に社内研修を行い虐待防止に努めている。	今後も研修の機会を確保し、日々の支援の振り返りも行っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束があり得る場合は、保護者様に説明、同意を得たうえで計画に記載している。		